

令和 2 年度
第2回区民アンケート報告書

大阪市鶴見区役所

目次

■ アンケートの概要	1
ご回答いただいた方の基本事項について	2
1. 情報の入手について	
問1 区広報紙「広報つるみ」は、毎月1～5日の間で、年12回各ご家庭・区内事業所に全戸配布しています。 「広報つるみ」を読んでいたいですか。	4
問2 (問1で「3 読むのは5回以下」「4 読んだことがない」と回答された方へ) 「広報つるみ」を読まない、たまにしか読まない理由はなんですか。	5
問3 鶴見区が実施している広報(区広報紙「広報つるみ」、区ホームページ、区広報板など)で、必要とする区政情報が必要なときに入手できていますか。	6
問4 鶴見区では、区広報紙「広報つるみ」や区ホームページ、区広報板などで、イベント情報や子育て情報など区役所からのお知らせを発信しています。 あなたは、これらを通して区政(イベントやお知らせ、事業等の内容)について関心が高まりましたか。	7
2. 地震・風水害等の災害について	
問5 あなたは、浸水や倒壊により自宅で生活できなくなったときに避難するご自分(家族)の災害時避難所がどこにあるか知っていますか。	8
問6 コロナ禍では、安全が確保できる場合は在宅非難が推奨されることについて知っていますか。	9
問7 あなたは、いざという時に備えて、食料や飲み水の備蓄や家具の転倒防止等の防災対策をしていますか。	10
問8 あなたが、災害発生時心配なことは何ですか。	11
問9 鶴見区では、地域で実施されている防災訓練のほか、さまざまな防災事業を行っています。知っている防災事業を選んでください。	12
問10 鶴見区では、地震や風水害など危機事象ごとの計画をまとめた「鶴見区地域防災計画」(鶴見区ホームページに掲載)を作成しています。 あなたは「鶴見区地域防災計画」やその取組みを知っていますか。	13
問11 あなたは、地震・風水害などの災害に対する、鶴見区全体の危機管理の取組みが進んでいると感じますか。	14
3. 地域福祉の推進について	
問12 災害時に限らず日常生活の中で「お元気ですか?」や「何かお困りですか?」など、住民同士の「声かけ」「見守り」「支え合い」が行われていると感じますか。	15

問 13	あなたは、現在ボランティア活動をしていますか。または、ボランティア活動してみたいと思っていますか。—————	16
問 14	鶴見区では、電球の交換や庭の草むしり、外出時の付き添いなど、介護保険や障がい福祉サービスでは対象外とされている、日常生活のちょっとした困り事を地域住民同士の支え合いで補う、有償ボランティア制度「まちの支えあい活動通称『あいまち』」を実施しています。 あなたは『あいまち』を知っていますか。—————	17
問 15	(問 14 で「1 知っている」「2 聞いたことがある」と回答され方へ) あなたは、「あいまち」に参加してボランティア活動をしようと思いませんか。—————	18
問 16	鶴見区では、「認知症に対する講演会」や「障がい者とその家族を対象にした専門相談会」などの取組みを実施しています。また、地域では「つなげ隊」や「あいまち」により高齢者や障がいのある方の見守り活動が行われています。 あなたは、鶴見区が高齢者や障がいのある人にやさしいまちになっていると感じますか。—————	19
4. 健康管理について		
問 17	あなたは、運動や食生活など、健康に関する取組みをしていますか。-	20
問 18	健康増進のためにどのようなことを知りたいですか。—————	21
5. 在宅医療や介護サービスについて		
問 19	あなたは、医療と介護の両方を必要とする状態となった場合、住み慣れた地域で暮らすため、どのような情報が必要だと思いますか。——	22
6. 鶴見区全般について		
問 20	今後、だれもが安心して暮らせるまちづくりを進めるにあたり、取り組んだらよいと思うアイデア等がありましたら、ご記入ください。——	23
アンケート調査票—————		25

■アンケート概要

(1) 第2回区民アンケートの目的

区民の皆さんがお互いに支えあい、だれもが安心して暮らせるまちの実現に向け、情報の入手について、地震・風水害等の災害について、地域福祉の推進について、健康管理についてなど、広く区民の皆さんにお伺いし、今後の施策の進め方の参考にさせていただきます。

(2) 区民アンケートの実施状況

実施期間	: 令和2年12月8日(火)～12月22日(火)
実施方法	: 郵送によるアンケート
対象者	: 無作為抽出1,000名
回答者数	: 535名
宛先不明返戻分	: 19名
回答率	: 54.5%

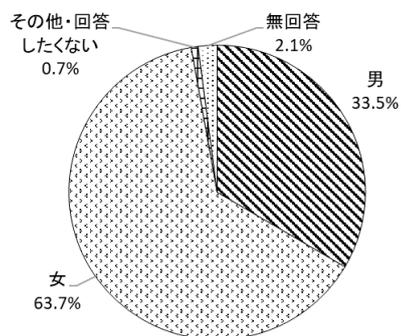
(3) 報告書に関する留意点について

回答構成比(%)は、設問ごとの回答者数を100%として、各実数をもとに算出した数値の少数第2位を四捨五入しています。そのため、構成比の合計が100%と一致しない場合があります。

ご回答いただいた方の基本事項について

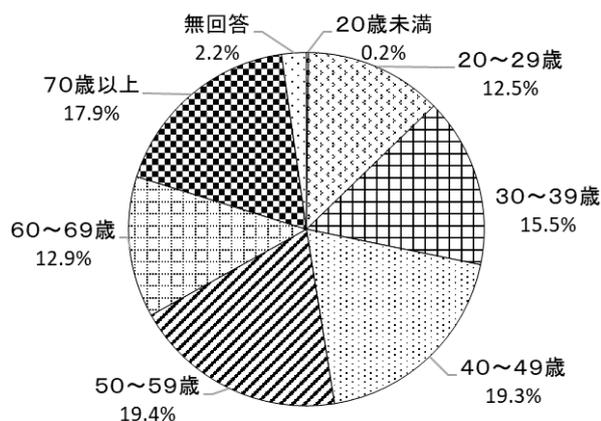
性別

	n数	男	女	その他・回答したくない	無回答
回答社計(名)	535	179	341	4	11
回答者計(%)	100.0	33.5	63.7	0.7	2.1



年齢

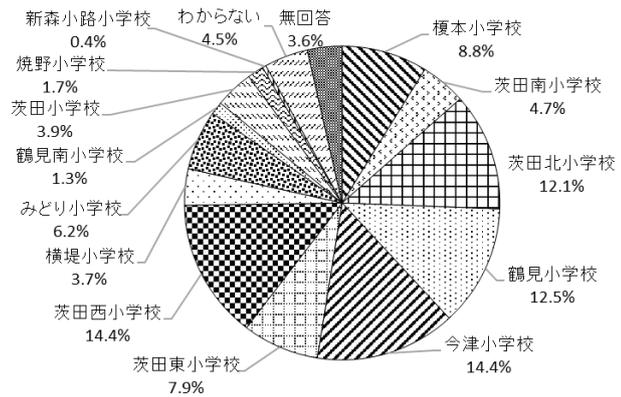
	n数	20歳未満	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無回答
回答社計(名)	535	1	67	83	103	104	69	96	12
回答者計(%)	100.0	0.2	12.5	15.5	19.3	19.4	12.9	17.9	2.2



小学校区

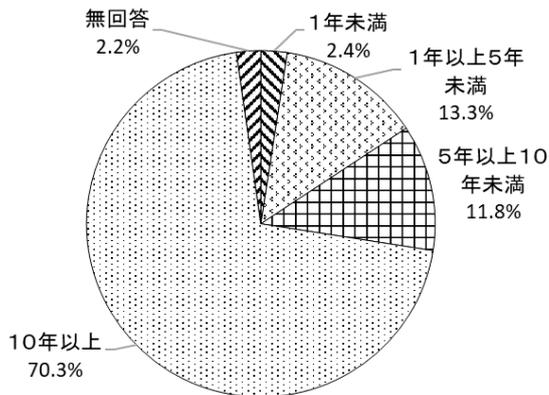
	n数	榎本小学校	茨田南小学校	茨田北小学校	鶴見小学校	今津小学校	茨田東小学校	茨田西小学校	横堤小学校	みどり小学校	鶴見南小学校	茨田小学校
回答社計(名)	535	47	25	65	67	77	42	77	20	33	7	21
回答者計(%)	100.0	8.8	4.7	12.1	12.5	14.4	7.9	14.4	3.7	6.2	1.3	3.9

	焼野小学校	新森小路小学校	わからない	無回答
回答社計(名)	9	2	24	19
回答者計(%)	1.7	0.4	4.5	3.6



居住年数

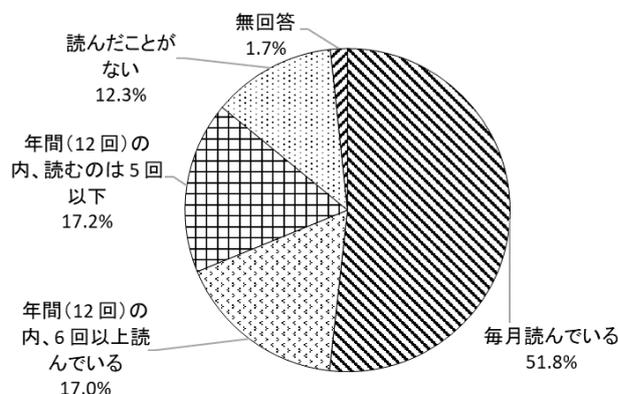
	n数	1年未満	1年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上	無回答
回答社計(名)	535	13	71	63	376	12
回答者計(%)	100.0	2.4	13.3	11.8	70.3	2.2



1. 情報の入手について

問1 区広報紙「広報つるみ」は、毎月1～5日の間で、年12回各ご家庭・区内事業所に全戸配布しています。「広報つるみ」を読んでいますか。
(1つ選んでください)

	n数	毎月読んでいる	年間(12回)の内、6回以上読んでいる	年間(12回)の内、読むのは5回以下	読んだことがない	無回答
回答者計(名)	535	277	91	92	66	9
回答者計(%)	100.0	51.8	17.0	17.2	12.3	1.7



【全体的傾向】 「毎月読んでいる」(51.8%)、と過半数の方が「広報つるみ」を毎月読んでいる。

【年齢別傾向】 30代以上の年代で「毎月読んでいる」が最も多く、最多は60代(65.2%)。一方20代では「読んだことがない」(41.8%)が最も多い。

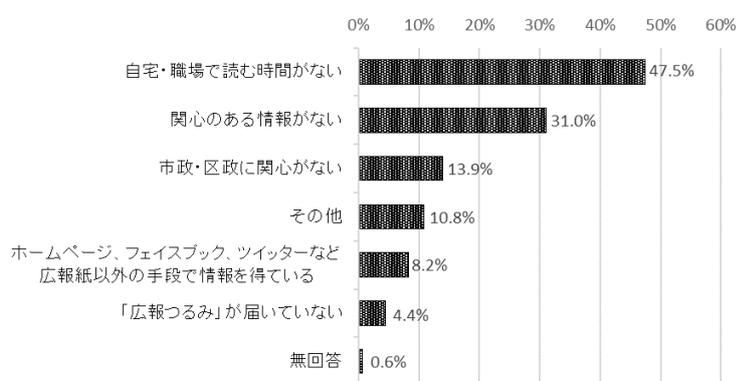
【居住年数別傾向】 全ての居住年数で「毎月読んでいる」が最も多く、最多は5年以上10年未満(57.1%)。次いで1年未満(53.8%)、1年以上5年未満(52.1%)が多い。また、全ての居住年数で「毎月読んでいる」が過半数を超えている。

【小学校区別傾向】 全ての小学校区で「毎月読んでいる」が最も多く、最多は茨田小学校(71.4%)。次いで、茨田東小学校、鶴見小学校(それぞれ64.3%、61.2%)。

焼野小学校では「毎月読んでいる」と「年間(12回)の内、読むのは5回以下」が同数である(44.4%)。

問2 (問1で「3 読むのは5回以下」「4 読んだことがない」と回答された方へ)
「広報つるみ」を読まない、たまにしか読まない理由はなんですか。
(いくつでも選んでください)

	n 数	自宅・職場で読む 時間がない	ホームページ、フェイス ブック、ツイッターなど 広報紙以外の手段で情報を 得ている	市政・区政に関心がない	関心のある情報がない	「広報つるみ」が 届いていない	その他	無回答
回答者計(名)	158	75	13	22	49	7	17	1
回答者計(%)	100.0	47.5	8.2	13.9	31.0	4.4	10.8	0.6



【全体的傾向】 「自宅・職場で読む時間がない」(47.5%)が最も多く、次いで「関心のある情報がない」(31.0%)が多い。

【年齢別傾向】 60代以下の年代で「自宅・職場で読む時間がない」が最も多く、最多は50代(59.3%)。70歳以上では「関心のある情報がない」(33.3%)、「その他のご意見」(33.3%)が最も多い。

【居住年数別傾向】 全ての居住年数で「自宅・職場で読む時間がない」が最も多く、最多は1年未満(60.0%)。その他の項目では、居住年数による大きな違いは見られない。

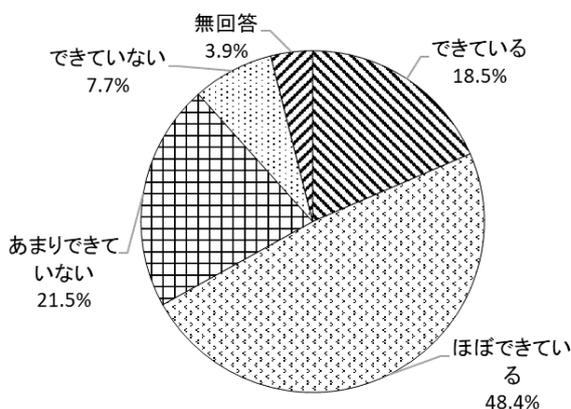
【小学校区別傾向】 茨田東小学校では「関心のある情報がない」(62.5%)が最も多く、焼野小学校、鶴見南小学校では「自宅・職場で読む時間がない」と「関心のある情報がない」が同数(それぞれ50.0%、25.0%)である。その他小学校区では「自宅・職場で読む時間がない」が最も多く、最多は茨田小学校(60.0%)。

〔「その他」と回答された方のご意見(抜粋)〕

- ・ 広報紙のことを知らなかった。
- ・ めんどく
- ・ 関心がない
- ・ 興味のある記事だけ読んでいる

問3 鶴見区が実施している広報（区広報紙「広報つるみ」、区ホームページ、区広報板など）で、必要とする区政情報が必要なときに入手できていますか。
（1つ選んでください）

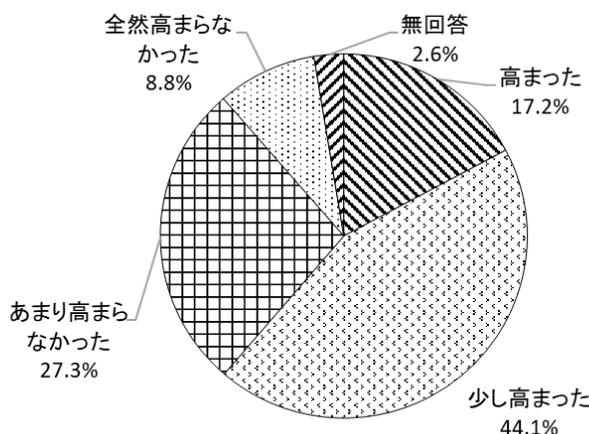
	n数	できている	ほぼできている	あまりできていない	できていない	無回答
回答者計（名）	535	99	259	115	41	21
回答者計（%）	100.0	18.5	48.4	21.5	7.7	3.9



- 【全体的傾向】 「できている」（18.5%）、「ほぼできている」（48.4%）と66.9%の方が必要とする区政情報が入手できていると感じている。
- 【年齢別傾向】 20歳未満以外の全ての年代で「ほぼできている」が最も多く、最多は40代（58.3%）。40代では「できている」（21.4%）が「あまりできていない」（13.6%）より多く、その他の年代では「あまりできていない」が「できている」より多い。
- 【居住年数別傾向】 1年未満では「あまりできていない」（46.2%）が最も多い。その他の居住年数では「ほぼできている」が最も多く、最多は5年以上10年未満（52.4%）。
- 【小学校区別傾向】 鶴見南小学校では「できていない」（42.9%）が最も多い。その他の小学校区では「ほぼできている」が最も多く、最多は鶴見小学校（61.2%）。

問4 鶴見区では、区広報紙「広報つるみ」や区ホームページ、区広報板などで、イベント情報や子育て情報など区役所からのお知らせを発信しています。
あなたは、これを通して区政（イベントやお知らせ、事業等の内容）について関心が高まりましたか。（1つ選んでください）

	n数	高まった	少し高まった	あまり高まらなかった	全然高まらなかった	無回答
回答者計（名）	535	92	236	146	47	14
回答者計（%）	100.0	17.2	44.1	27.3	8.8	2.6



- 【全体的傾向】 「高まった」（17.2%）、「少し高まった」（44.1%）と61.3%の方が区政について関心が高まったと感じている。
- 【年齢別傾向】 20歳未満以外全ての年代で「少し高まった」が最も多く、最多は30代（47.0%）。また、「あまり高まらなかった」は、60歳代と70歳代との関係を除き、年代が上がるほど多くなっている（20代：17.9%、30代：20.5%、40代：23.3%、50代：32.7%、60代：34.8%、70代：33.3%）。
- 【居住年数別傾向】 全ての居住年数で「少し高まった」が最も多く、最多は1年未満（61.5%）。次いで、1年以上5年未満では「高まった」が「あまり高まらなかった」より多く、その他の居住年数では「あまり高まらなかった」が「高まった」より多い。
- 【小学校区別傾向】 茨田東小学校では「少し高まった」と「あまり高まらなかった」が同数（38.1%）、鶴見南小学校では「少し高まった」と「あまり高まらなかった」と「全然高まらなかった」が同数（28.6%）。その他の小学校区では「少し高まった」が最も多く、最多は焼野小学校（66.7%）。

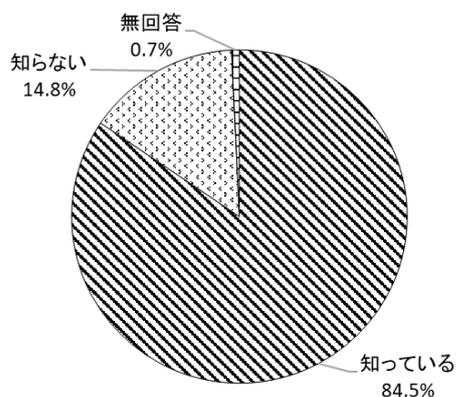
2. 地震・風水害等の災害について

問5 あなたは、浸水や倒壊により自宅で生活できなくなった時に避難するご自分（家族）の災害時避難所がどこにあるか知っていますか。（1つ選んでください）

	n 数	知 っ て い る	知 ら な い	無 回 答
回答者計（名）	535	452	79	4
回答者計（%）	100.0	84.5	14.8	0.7

※災害時避難所とは

浸水や倒壊により自宅で生活ができなくなった方々が一定期間滞在し、生活環境を確保するための施設です。お近くの小学校、中学校の体育館などが災害時避難所に指定されています。



【全体的傾向】

「知っている」（84.5%）と回答された方が最も多い。

【年齢別傾向】

全ての年代で「知っている」が最も多く、最多は60代（92.8%）。20代、30代では「知らない」（それぞれ20.9%、28.9%）が他の年代より多く、2割を超えている。

【居住年数別傾向】

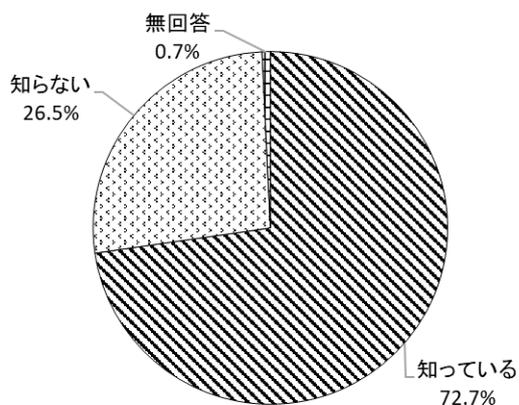
全ての居住年数で「知っている」が最も多く、最多は10年以上（89.6%）。

【小学校区別傾向】

全ての小学校区で「知っている」が最も多く、最多は鶴見南小学校、焼野小学校（それぞれ100.0%）。

問6 コロナ禍では、安全が確保できる場合は在宅避難が推奨されることについて
知っていますか。(1つ選んでください)

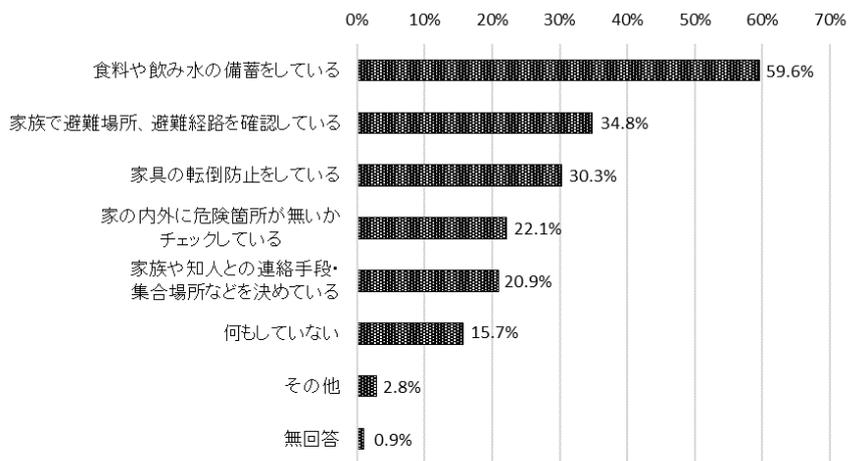
	n 数	知 っ て い る	知 ら な い	無 回 答
回答者計 (名)	535	389	142	4
回答者計 (%)	100.0	72.7	26.5	0.7



- 【全体的傾向】 「知っている」(72.7%)と回答された方が最も多い。
- 【年齢別傾向】 全ての年代で「知っている」が最も多く、最多は60代(82.6%)。20代は他の年代よりも「知らない」(41.8%)が多い。
- 【居住年数別傾向】 全ての居住年数で「知っている」が最も多く、最多は1年以上5年未満(78.9%)。その他、居住年数による大きな違いは見られない。
- 【小学校区別傾向】 全ての小学校区で「知っている」が最も多く、最多は焼野小学校(88.9%)。その他の小学校区では大きな違いは見られない。

問7 あなたは、いざという時に備えて、食料や飲み水の備蓄や家具の転倒防止等の防災対策をしていますか。(いくつでも選んでください)

	n数	食料や飲み水の備蓄をしている	家具の転倒防止をしている	家の内外に危険箇所が無い かチェックしている	家族で避難場所、避難経路を確認している	家族や知人との連絡手段・ 集場所などを決めている	その他	何もしていない	無回答
回答者計(名)	535	319	162	118	186	112	15	84	5
回答者計(%)	100.0	59.6	30.3	22.1	34.8	20.9	2.8	15.7	0.9



【全体的傾向】 「食料や飲み水の備蓄をしている」(59.6%)が最も多い。次いで「家族で避難場所、避難経路を確認している」(34.8%)、「家具の転倒防止をしている」(30.3%)が多い。「何もしていない」は15.7%。

【年齢別傾向】 全ての年代で「食料や飲み水の備蓄をしている」が最も多く、最多は70歳以上(62.5%)。次いで、30歳代では「家具の転倒防止をしている」(32.5%)、60歳代では「家の内外に危険箇所が無いかチェックしている」(30.4%)が多い。その他の年代では「家族で避難場所、避難経路を確認している」が多い。

【居住年数別傾向】 全ての居住年数で「食料や飲み水の備蓄をしている」が最も多く、最多は5年以上10年未満(66.7%)。次いで10年以上では「家族で避難場所、避難経路を確認している」(38.1%)が多く、その他の居住年数では「家具の転倒防止をしている」が多い。

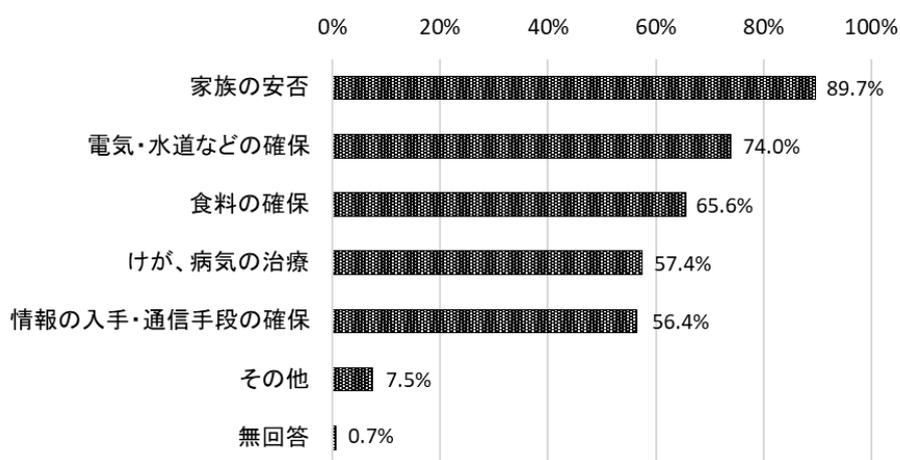
【小学校区別傾向】 全ての小学校区で「食料や飲み水の備蓄をしている」が最も多く、最多は鶴見南小学校(71.4%)。次いで、「家族で避難場所、避難経路を確認している」又は「家具の転倒防止をしている」が多い。

【「その他」と回答された方のご意見(抜粋)】

- ・防災グッズを入れた防災袋の準備
- ・寝室にダンス等大きい家具を置かない
- ・ろうそく、ラジオの備え置き

問8 あなたが、災害発生時心配なことは何ですか。(いくつでも選んでください)

	n 数	家族の 安否	電気・水道 などの 確保	食料の 確保	情報の 入手・ 通信 手段の 確保	けが、 病気の 治療	その他	無 回 答
回答者計 (名)	535	480	396	351	302	307	40	4
回答者計 (%)	100.0	89.7	74.0	65.6	56.4	57.4	7.5	0.7



【全体的傾向】 「家族の安否」(89.7%) が最も多い。次いで「電気・水道などの確保」が多い。

【年齢別傾向】 全ての年代で「家族の安否」が最も多く、次いで、「電気・水道などの確保」が多い。次いで、50歳代及び60歳代では「けが、病気の治療」が多いが、その他の年代では「食料の確保」が多い。

【居住年数別傾向】 全ての居住年数で「家族の安否」が最も多く、最多は1年未満(100.0%)。10年以上では「けが、病気の治療」が「情報の入手・通信手段の」確保より多いが、その他の項目では居住年数別で大きな違いは見られない。

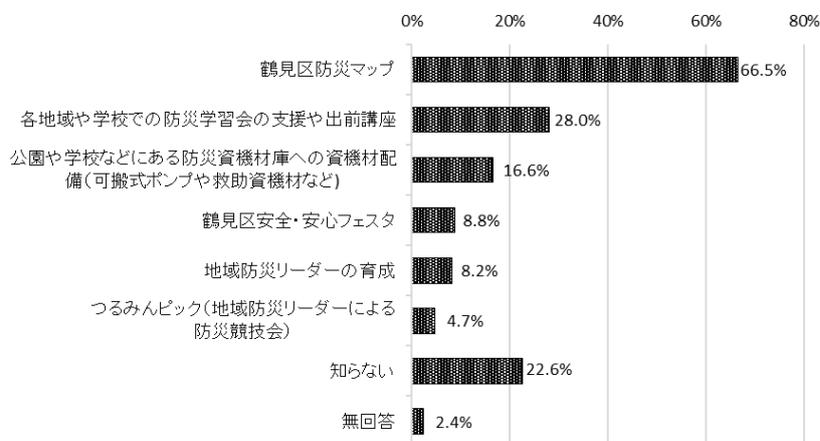
【小学校区別傾向】 鶴見南小学校区では「食料の確保」(71.4%) が最も多く、「家族の安否」「電気・水道などの確保」「けが、病気の治療」が同数である(それぞれ57.1%)。その他の小学校区では「家族の安否」が最も多く、最多は焼野小学校(100.0%)。次いで「電気・水道などの確保」が多く、最多はみどり小学校(81.8%)。

〔「その他」と回答された方のご意見(抜粋)〕

- ・ペット、赤ちゃん、子どもの世話
- ・持病の薬の確保、治療
- ・家屋の倒壊
- ・避難所までの移動手段
- ・避難所での生活(トイレ、風呂、睡眠等)

問9 鶴見区では、地域で実施されている防災訓練のほか、さまざまな防災事業を行っています。知っている防災事業を選んでください。(いくつでも選んでください)

	n 数	公園や学校などにある防災資機材庫への資機材配備(可搬式ポンプや救助資機材など)	各地域や学校での防災学習会の支援や出前講座	鶴見区防災マップ	鶴見区安全・安心フェスタ	地域防災リーダー(※)の育成	つるみんピック(地域防災リーダーによる防災競技会)	知らない	無回答
回答者計(名)	535	89	150	356	47	44	25	121	13
回答者計(%)	100.0	16.6	28.0	66.5	8.8	8.2	4.7	22.6	2.4

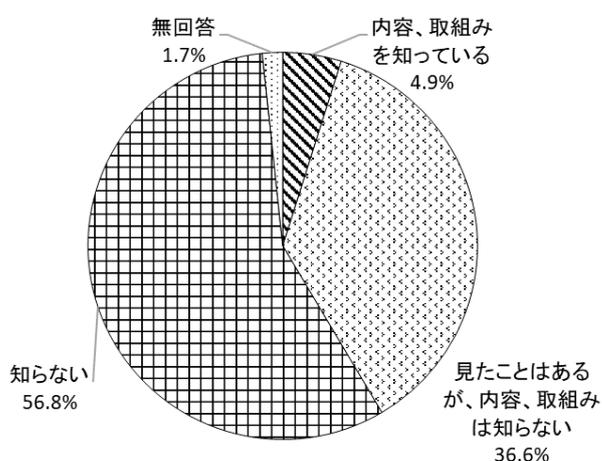


※地域防災リーダーとは
災害時の初期初動において、消火・救出救護活動を行う地域のリーダーとして、平時より訓練や啓発活動に取り組む方々です。

- 【全体的傾向】 「鶴見区防災マップ」(66.5%) が最も多い。次いで「各地域や学校での防災学習会の支援や出前講座」が多い(28.0%)
- 【年齢別傾向】 20歳未満以外では「鶴見区防災マップ」が最も多く、最多は40代(79.6%)。次いで、20代、30代では「知らない」が多く(それぞれ34.3%、31.3%)、その他の年代では「各地域や学校での防災学習会の支援や出前講座」が多い。
- 【居住年数別傾向】 1年未満では「鶴見区防災マップ」と「知らない」が同数(46.2%)である。その他の居住年数では「鶴見区防災マップ」が最も多く、最多は10年以上(69.4%)。
- 【小学校区別傾向】 全ての小学校区で「鶴見区防災マップ」が最も多く、最多は横堤小学校(80.0%)。

問 10 鶴見区では、地震や風水害など危機事象ごとの計画をまとめた「鶴見区地域防災計画」(鶴見区ホームページに掲載)を作成しています。あなたは「鶴見区地域防災計画」やその取組みを知っていますか。(1つ選んでください)

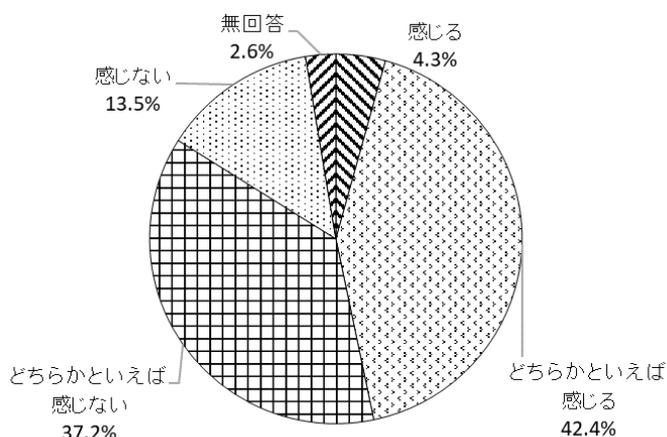
	n 数	内容、取組みを知っている	見たことはあるが、内容、取組みは知らない	知らない	無回答
回答者計 (名)	535	26	196	304	9
回答者計 (%)	100.0	4.9	36.6	56.8	1.7



- 【全体的傾向】 「知っている」(4.9%)、「見たことはあるが、内容、取組みは知らない」(36.6%)と、41.5%の方が見たことはあると回答している。一方、「知らない」(56.8%)が最も多く、「見たことはあるが、内容、取組みは知らない」(36.6%)を含めると93.4%の方が内容、取組みを知らないと回答している。
- 【年齢別傾向】 60代、70代では「見たことはあるが、内容、取組みは知らない」が最も多い(それぞれ47.8%、41.7%)。その他の年代では「知らない」が最も多い。
- 【居住年数別傾向】 全ての居住年数で「知らない」が最も多く、最多は1年未満(76.9%)。その他の項目で居住年数別で大きな違いは見られないが、居住年数が長くなるほど、認知度は上がっている。
- 【小学校区別傾向】 焼野小学校では「見たことはあるが、内容、取組みは知らない」(55.6%)が最も多く、その他の小学校区では「知らない」が最も多い。

問 11 あなたは、地震・風水害などの災害に対する、鶴見区全体の危機管理の取組みが進んでいると感じますか。(1つ選んでください)

	n 数	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	無回答
回答者計 (名)	535	23	227	199	72	14
回答者計 (%)	100.0	4.3	42.4	37.2	13.5	2.6



- 【全体的傾向】 「感じる」(4.3%)、「どちらかといえば感じる」(42.4%)と、46.7%の方が鶴見区全体の危機管理の取組みが進んでいると感じている。
- 【年齢別傾向】 50代では「どちらかといえば感じない」(44.2%)が最も多い。その他の年代では「どちらかといえば感じる」が最も多く、最多は40代(47.6%)。
- 【居住年数別傾向】 全ての居住年数で「どちらかといえば感じる」が最も多く、最多は1年以上5年未満(47.9%)。その他の項目では居住年数別で大きな違いは見られない。
- 【小学校区別傾向】 今津小学校、茨田東小学校、みどり小学校では「どちらかといえば感じない」が最も多く(それぞれ37.7%、42.9%、54.5%)、茨田南小学校では「どちらかといえば感じる」と「どちらかといえば感じない」が同数(40.0%)である。その他の小学校区では「どちらかといえば感じる」が最も多い。